

「アフリカの奇妙な齧歯類“ハダカデバネズミ” ～がん化耐性・長寿の不思議～」

三浦 恭子

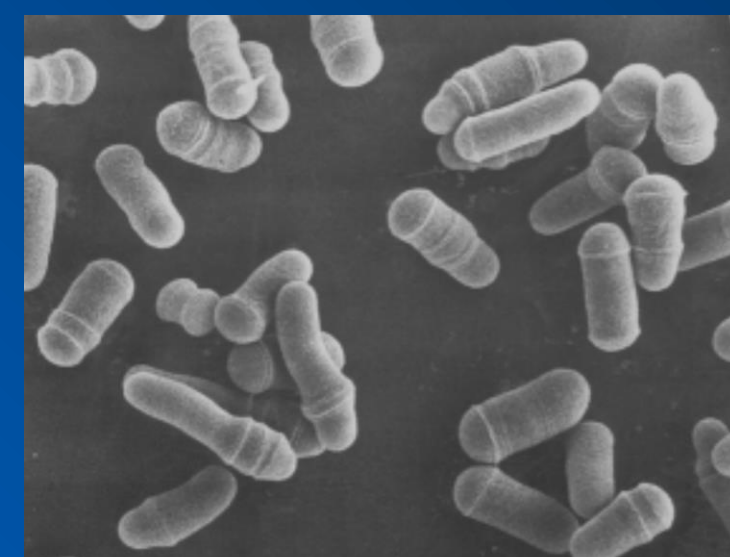
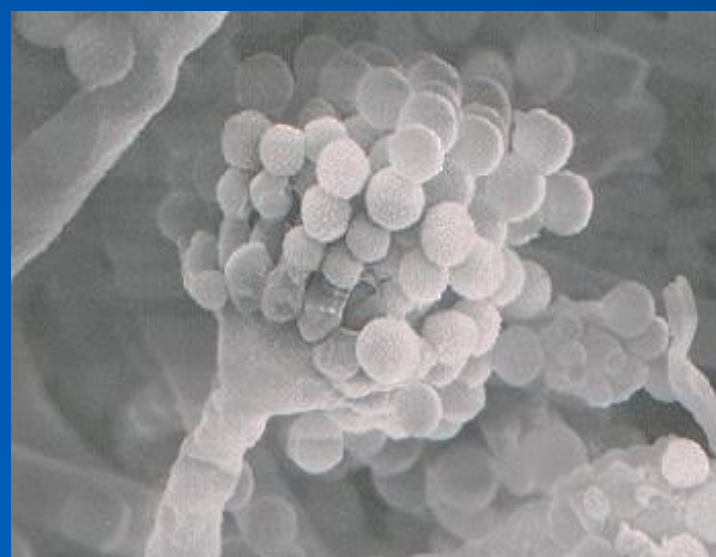
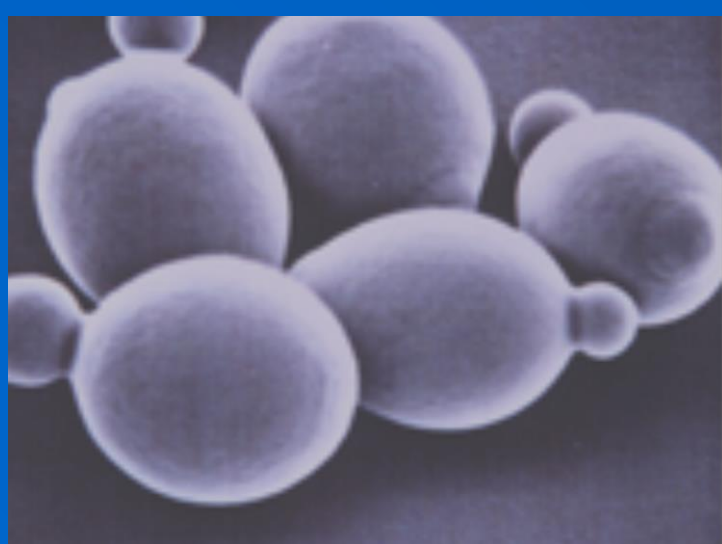
北海道大学 遺伝子病制御研究所
動物機能医科学研究室 講師

(世話人：水沼 正樹准教授

大学院先端物質科学研究科
分子生命機能科学専攻)

《概要》

ハダカデバネズミ(Naked mole-rat, NMR)は、マウスと同等の大きさながら異例の長寿動物(平均生存期間28年)である。また、今までに自然発生腫瘍がほとんど確認されたことがない、がん化耐性の特徴をもつ。我々はNMRからiPS細胞を樹立し解析を進めた結果、興味深いことに、がん化耐性齧歯類NMRから樹立したiPS細胞は、多能性を持ちながら腫瘍(奇形腫)化耐性を示すことが判明した。解析の結果、iPS細胞のみならず個体のがん化耐性にも関与しうる、NMR特異的な腫瘍化耐性機構が同定された。また、細胞老化に対する特殊な応答性を示すことも明らかになりつつある。本研究では、ハダカデバネズミの生態と我々のこれまでの研究内容を紹介したい。



※本セミナーは5研究科共同セミナーです。

開催日時：平成 28 年 3 月 18日(金) 15:00-16:00

会場：広島大学先端科学総合研究棟 3F 302S 会議室

お問い合わせ先

○広島大学大学院先端物質科学研究科分子生命機能科学専攻

・広島大学健康長寿研究拠点：河本 正次(代表)， 事務担当：松本

連絡先：E-mail tomako@hiroshima-u.ac.jp TEL 082-424-7867